

科目番号	BB106				
科目名	造林学実習				
担当教員	岩成 麻子（森林大学校専任教員）				
科目区分	森林生態学	人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	1年		授業形態	実習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数
授業時間数	15		コマ		(30 単位時間)
実務経験のある教員による授業科目	—		左の実務経験の内容	—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○		左の実務経験の内容	伐採・造林業者、県緑化センター職員	
実務経験を活かした授業内容	伐採・造林一貫作業システムを採用している伐採・造林業者の指導の下、安全で効率的な育林技術の基礎を学ぶとともに、種苗の管理を行っている県緑化センター職員から、苗畑管理等の指導を受ける。				

目的	育林技術の基本作業を実習により学ぶ。
概要	植栽、下刈、枝打ち、間伐など、育林技術を一通り実習する。
キーワード	①植栽 ②下刈 ③針葉樹人工林の森林管理(間伐) ④広葉樹天然林、広葉樹人工林の森林管理 ⑤針広混交林について ⑥枝打ち ⑦苗畑管理
関連する科目	造林学、森林計測学実習
到達目標	○ 森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	○ 森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	課題50%、出席30%、態度20%

授業計画	テーマ	講義内容
1～8	保育	(1) 枯損木調査・シカ防護柵点・補修 (2) 下刈鎌及び刈払機による下刈
9～11	植栽	(1) 一貫作業システム現地の見学 (2) コンテナ苗捕植
12～15	林木育種と種苗生産	(1) 林木育種とは (2) 種子採取実習 (3) 種苗生産技術

テキスト	資料配付
参考書	林業技術ハンドブック、森林林業実務必携、ニューフォレスターズガイドなど
関連する資格	樹木医補、森林情報士2級
備考	主に現地実習や現地見学により造林・保育の技術を学びますが、現地での理解を深めるため講義形式の授業を織り交ぜて展開します。